

森林の有する公益的機能

林野庁作成資料

○ 森林は、地球温暖化防止機能、土砂災害防止機能・土壌保全機能、水源涵養機能などの多面的な公益的機能を有しており、広く、国民一人一人に恩恵をもたらしている。

森林の有する公益的機能の例

※【 】内の数値は、各機能を堰堤やダム等の別の手段によって代替した場合の貨幣評価額

地球温暖化防止機能

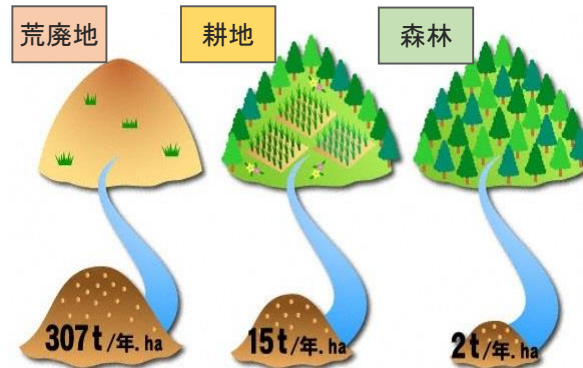
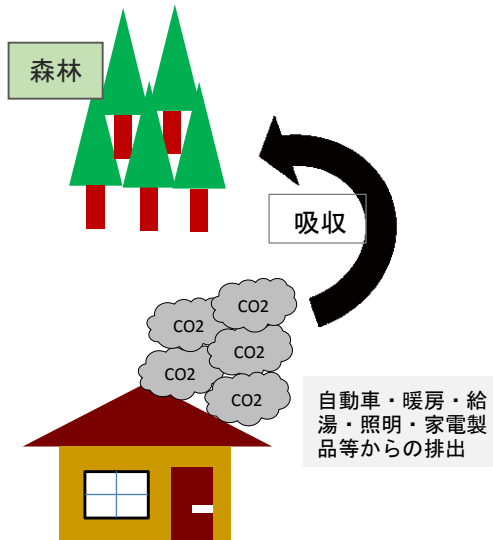
- 二酸化炭素吸収 【1.2兆円】
- 化石燃料代替エネルギー 【0.2兆円】

土砂災害防止機能・土壌保全機能

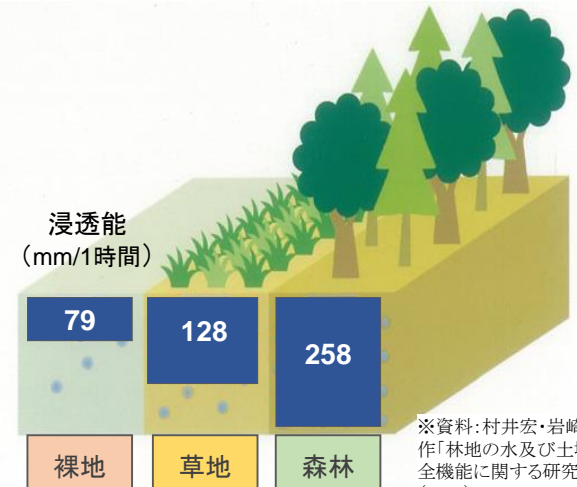
- 表面侵食防止 【28.3兆円】
- 表層崩壊防止 【8.4兆円】

水源涵養機能

- 洪水緩和 【6.5兆円】
- 水資源貯留 【8.7兆円】
- 水質浄化 【14.6兆円】



資料：丸山岩三「森林水文」実践林業大学1970



※資料：村井宏・岩崎勇 作「林地の水及び土壌保全機能に関する研究」(1975)

森林の適正な管理が進まなかった場合に想定される影響の例②

～土砂災害防止・土壌保全機能、水源涵養機能の低下～

林野庁作成資料

山地災害が増加する恐れ

平成28年6月22日
梅雨前線豪雨災害

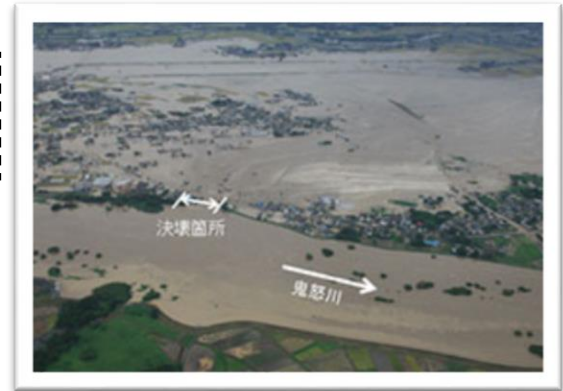
大分県九重町長井野の山腹崩壊



下流部における洪水・浸水被害が増加する恐れ

平成27年(2015年)
関東・東北豪雨による
浸水被害

鬼怒川の決壊状況



平成28年9月20日
台風第16号災害

鹿児島県鹿屋市輝北町における山腹崩壊



平成28年(2016年)
台風第10号による
浸水被害

石狩川水系空知川の決壊状況

- 都市部を含む住民の生命、身体、財産を毀損するリスクの高まり
- 災害が起きれば、その復旧には多額の行政コストが発生